

光市医師会報

平成3年5月号

No. 223



若葉時

光市医師会

新入会員紹介

冬野 幾久男

光市立病院 産婦人科



よく「いくお」と読まれますが、「きくお」といいます。家の者や親戚の方からは「きくちゃん」といわれるので、人前では時々恥ずかしい思いをすることもあります。

ニックネームは、「ウインターフィールド」とか「ダンディー冬野」とか、観光バスのガイドさんに「潤んだ目をしたお兄さん」と呼ばれたことより「ウルメ」と付いてしまいました。そのほか「千代の富士」とか人は好き勝手に呼びます。年齢は、10年取って29才です。兎年生の双子座生です。いつもボサボサ頭で、幾つになっても童顔のため、よく独身？に見られますが、家に帰れば38才中年のおばさんと中1の長女、小学4年の長男が待ち構えています。家族は、他に8年来の猫1匹と一昨年の夏の花火大会の帰りに金魚すくいですくった金魚1匹が居ます。血液型は、平凡ですが勤勉、実直なA型です。出身は、関西の田舎一紀伊半島にある紀州徳川藩の城下町一和歌山県和歌山市です。そこで高校まで過ごし

〔略歴〕

昭和51年3月 山口大学医学部卒

其後 山口大学附属病院

厚生連周東総合病院

国立山口病院

国立下関病院

等で勤務され、平成3年4月1日より
光市立病院へ

した。兄弟は、姉と弟が居り、姉は小学校の教師をしていますし、弟は「パパハウス」という美容院をやっています。どう言うわけか、兄弟そろって女性相手の仕事です。経歴は、昔の名門和歌山中学校の桐蔭高校から、山口大学を昭和51年に卒業し、山口大学の産婦人科医局に入局しました。その後、大学で2年間研修し、大学院で「胎児ヘモグロビンについて」研究後、柳井市の周東総合病院、豊浦郡豊浦町の国立山口病院、下関市の国立下関病院に勤務しました。前の国立下関病院は院長先生も以前居られたそうで、主に子宮癌や卵巣癌などの癌患者を受け持っていました。好きな食べ物は、何でも好き嫌いはしませんが、最近は、洋食よりも、凝った和食のほうがおいしく思われます。好きな女性のタイプは、別に好き嫌いはしませんが、叶和貴子のような比較的細みの美人がいいと思っていますが、どう言うわけか自分と同じ太みの方に好かれるようで、時々悩んでしまいます。ちな

みに身長は170cm・体重は70とちょっとです。趣味は、水泳・テニス・ボーリング・ゴルフ・釣り・囲碁・将棋・マージャンその他色々で、遊ぶことなら何でも大好きです。

以上・・・

このような未熟者ですが、此の度、平成3年4月1日光市技術吏員一光市立病院医

務部産婦人科医長を拝命し、微力ではございますが決意を新たに、今まできたえた技倆をもって地域住民の健康増進のため誠心誠意努力いたす所存であります。光市医師会の先生方にはどうぞ御厚誼を賜りますように、また、今後ご指導・ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

畑 尾 満佐子

光市立病院 内科



私は、本年4月、山口大学医学部第3内科より光市立病院内分泌内科に勤務する事となりました。第3内科は、兼子俊男教授を中心に糖尿病・内分泌疾患の研究、治療、また病棟のベット数の90%以上を占める血液疾患患者の治療、骨髄移植をおこなっています。市立病院では、その一端としまして、糖尿病の教育入院、甲状腺エコー検査、内分泌負荷試験を含めた内分泌疾患の診断治療をしています。また簡易無菌室も設置されていますので、白血病、悪性リンパ腫等血液疾患の治療も積極的におこなう予定です。近年の抗癌剤の進歩、G-C SKの開発により、これらの疾患の寛解率は上昇

〔略 歴〕

昭和58年3月 山口大学医学部卒

其後 山口大学附属病院

小野田市立病院

NTT山口健康管理所

町立大和病院

等で勤務され、平成3年4月1日より光市立病院へ

し、高齢者においても、化学療法をおこなう事で、延命、QOLの改善が期待できる様になりました。

ところで私は、兵庫県姫路市の出身で、大学時代から山口県に住んでいます。昨年初めて、大学～大学院、その後と10年以上住みなれた宇部を離れ、この風光明媚な光市にやってまいりました。この機会にぜひ周辺地区の散策やマリンスポーツ（とりあえずは水泳ですが）を楽しみたいと思っております。

私は、卒後8年、まだ未熟な点が多々あると思いますので、今後の御指導をよろしくお願い致します。

4月度月間行事・会議等

日	曜	行事・会議	場所	出席者
9	火	定例理事会	光市医師会館 (光市商工会議所)	8名
17~20	水~土	国保診査会	山口市	富恵
18	木	結核診査会	徳山環境保健所	福本
19	金	心電図研究会	光市立病院	6名 (光市医師会)
23	火	月例会	光市医師会館 (光市商工会議所)	21名
25	木	山口県医師会代議員会	県医師会館	福本

定例理事会

4月9日(火) 午後7時30分~

光市医師会館(光商工会議所)

(出席者) 福本、富恵、丸岩、前田
藤原、赤崎、梅田、吉村

(議 題)

1) 生涯教育都市担当理事協議会(赤崎)

イ) 生涯教育申告書提出—4月15日

ロ) 第74回山口県医学会総会

6月9日—下松市民会館

ハ) 今年度生涯研修セミナーの予定

ニ) 講演会等講師謝礼基準

2) 医療廃棄物の件 (福本)

市よりの医療廃棄物処理助成の補助金交付について

3) 国保人間ドック・大腸ガン精検の件
(福本)

イ) 国保人間ドックの料金は昨年と同じ

ロ) 大腸ガン精検を3医療機関が受託

4) 看護協会総会の件 (福本)

県看護協会徳山地区の会へ出席の依頼

5) 前田俊男先生米寿の件 (福本)

5月12日(日)、午後0時より金久にておこなう。記念品は医師会より出す。出席者は希望者で、会費は自費

6) 光市立病院の件 (福本)

光市立病院より「救急医療に対する特定病床10床の増床について」の申し出がある。→継続審議とする。

7) 定時総会。来賓、事業報告、計画、決算、予算 (福本)

暫定予算293万→了承

8) 4月度月例会の件 (福本)

9) その他

イ) 会員入退会

(退会) 佐藤先生、山本先生
(入会) 冬野先生、畑尾先生

(いずれも光市立病院)

ロ) 県医師会裁定委員の欠員に関する件

ハ) 山口県防犯連合会への寄付

1万円→了承

ニ) 松岡満寿男氏の寄付の件

ホ) 県医師会より減額免除申請の件

ヘ) 熊毛町より生後1ヵ月児の検診の申し込み→了承

ト) 光市医師会の50周年が再来年にあたりそろそろ行事、予算等を考えておいた方がよいのではないかと提案がある。

心電図研究会 (第34回)

光市・下松医師会合同

4月19日(金) 午後7時30分～

光市立病院

演 題 「心電図の読み方」

講 師 徳山中央病院 河野隆任先生

症 例

1) 76才 ♂ (主訴) 呼吸困難、喘息
(EKG所見) I・Ⅴ₁のST上昇、Q波、II・III・Ⅴ₄のST低下、V₁・V₂ST上昇、V₁～V₆のQ波
(診断) 前下行枝の梗塞、右脚ブロック、中隔が強く障害され、穿孔が考えられる。

※V₁とV₆が同じと言う事は中隔が強く障害され、穿孔をおこし心室が一つになった事を示唆している。

2) 42才 ♂ (主訴) 前胸部絞扼感

痛発作 (EKG所見) I・Ⅴ₁のST上昇、V₃～V₆ST上昇 (診断) 前下行枝の梗塞

3) 52才 ♂ (主訴) 前胸部から頸部に放散する絞扼感発作 (EKG所見) II・III・Ⅴ₄のST上昇、V₃・V₆のST上昇 (診断) 左回旋枝の梗塞

月例会・学術研修会

4月23日(火) 午後7時～

光市医師会館 (光商工会議所)

[学術研修会]

「死亡診断書 (死体検案書) 作成上の留意点」

近畿大学法医学部 吉村昌雄教授

(2月12日徳山医師会館でおこなわれた講演を徳山医師会の御厚意により録画したものです。)

[月例会]

- 1) 診療報酬の請求書、明細書の編てつ及び記載についての注意事項
- 2) 保険に関する意見の提出の件 (近藤理事)
- 3) 山口県医学会総会、山口県医師会総会の件 (6月9日、下松市民館)
- 4) 生涯教育新制度における修了証および認定証発行
- 5) 平成3年度の生涯研修セミナーテーマの件
- 6) 山口県医師会平成3年度生涯教育行事予定の件
- 7) 山口県内科医会総会の件 (8月25日、吉南医師会、山口グランドホテル)
- 8) 光市国民健康保険外来人間ドックの受

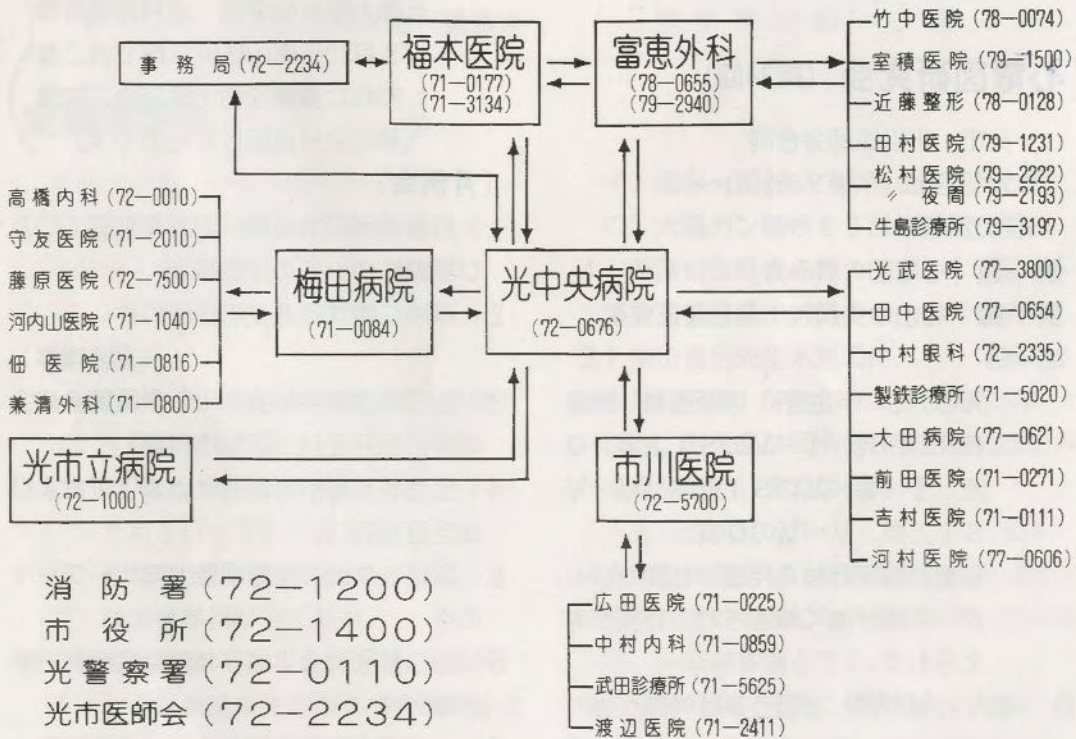
- 託医療機関の件
 9) 大腸癌集団検診後の精密検査受託医療機関の件
 10) 熊毛町より依頼の医療機関に委託して行う1ヶ月乳児一般健康診査実施要綱案

- の件
 11) 光市医師会救急(事故等)電話連絡網の件



◇◇光市医師会救急(事故等)電話連絡網◇◇

(平成3年4月1日)



田尻常太郎先生御逝去



平成3年4月15日
御逝去されました。
謹んで哀悼の意を
表します。

故 田尻常太郎先生を偲んで

福 本 寿 雄

去る4月15日早朝、田尻常太郎先生の御逝去の知らせを聞き、びっくりするやら、驚いて言葉も出ませんでした。昨年夏に、84才という御高齢とは言えお元々な姿で光を去られ、埼玉の方へ転居されました。昨年8月10日に金久別館で約30人位の会員で盛大な送別会をやり、昔話に花を咲かせたのも、ほんに昨日のように思います。

田尻先生は明治40年に、福岡の筑農炭田の町で生を受けられ、若い頃は苦労されておられ、先生のお父上が鉱山で失敗され早く亡くなられたそうである。その後大阪堺市の眼科で8年間手伝をしながら、盛んに遊んでおられたらしい。昭和6年に京城に行かれ大いに勉強して医師免許をとられ、近くで開業されたり、鉄道局の嘱託医をされたようだ。(先生の青春の譜より抜粋)
終戦後昭和21年5月に光に帰ってこられ、

室積の地に開業された。牛島にも約10年に亘り無医村診療に従事され、室積小学校、室積中学校の校医も40数年間に亘りやってこられました。

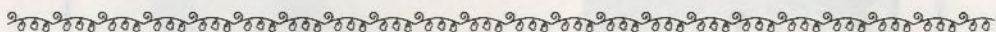
先生は、性格が至って明るく楽天的であり、遊び上手であり、いつも楽しい雰囲気を出される方であった。だから若い頃苦労されたと言うのが嘘のような明るい御性格であった。ことに佐藤佐伊太郎先生、高畠先生、森先生、岡本先生、梅田茂先生、石津先生、河内山良介先生などカウシャク龔鑠たる先生方といつも楽しく一杯飲んで元気に騒いでおられました。いつ誰がつけたアダナが知らないが「午前様」と言われ御本人も平然と認めておられたようである。医師会長、副会長を延べ14年間もやられており、理事会でも水牛の二階で一杯飲みながら議題をすゝめていたようである。当時(昭和30年

代)は、それ程医師会も開業医ものんきな時代であったように思う。当時お元気だった上記の先生方も殆んどこの世を去られ、現在お元気なのは前田先生お一人になってしまった。

今こゝに昨年5月と8月に田尻先生が書かれた「我が青春の譜」と「光市医師会の思い出」を載せた光市医師会報を読み返し

つい走り書きをしているが、昔の思い出が走馬燈のように浮んで来て、なつかしい限りである。田尻先生、どうぞ昔お元気だった先生方や奥様と楽しく杯を酌交して下さい。先生の御冥福を心よりお祈り致します。

(平成3年4月23日記)

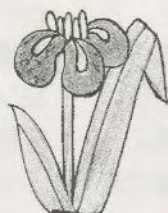


[田尻先生の光市医師会における役員歴]

- 昭和24年～29年 副会長
- ◇ 32年～36年 副議長
- ◇ 37年～40年 副会長
- ◇ 41年～44年 会長

- 昭和49年～56年 裁定委員
- ◇ 57年～58年 議長
- ◇ 59年～平成2年 裁定委員

(光市医師会史より)



＝ 編集後記 ＝

さわやかな風が新緑の間をぬってつたわってきます。いい気候を迎えました。光駅構内の土手にツツジがいっぱい咲いておりました。ツツジの名はたくさんの花がつきつぎに咲くからツツキサキギ(続咲木)からきているという説を本で読んだことがあります。なる程という雰囲気が出ておりました。

田尻先生の訃報に接し、送別会の時はあんなにお元気だったのにと驚きました。光を去られるにあたって思い出の原稿をお願いに行きましたのが、つい昨日の事のように

に思われます。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

今月は福本先生、冬野先生、畑尾先生に原稿をいただきました。有難うございました。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社